

伯刺西爾時報

目的と手段

◇穿違てはならぬ
田舎を旅行して眼に付くもの、一
つは、日本人の過度の勞働と、無味
の生活状態である。無論勤勉と云ふ
健康を害し、客卿は徳を傷けるの甚
だしいものである。

輩は恐れるを得ぬ、尤も或る人に
云はしむれば、伯國に於て働くのは
有害であり且つ危険であるが、過ぎ
たるは及ばざるの譬の如く、過勞は
命も惜まぬ有様で、縱令善意せよ唯
つた一つの身體を粗末に扱つて居
るのは、如何にも自滅を早めるやう
で情けない感じがする。

尤も誰にしても生れ故郷を戀しく
来る十一月十五日に就任する、聯邦
大統領アルツール・ベルナルド氏の
新政府閣員顔振に就ては、目下政界
の騒動を以て見たいとは普
通起る所の人情ではあるが、それは
何うしても行ひ得ないとすれば、伯
國を第二の故郷として此地に發展の
基础を据えべきではあるまいか、近
頃聞く所に依れば、母國農民の状態
所らしい。そしてこの藏相の候補者
としてシンドン・ブランチー・カ
ーパー・オビダール氏が擬せられてゐる
が、伯國貿易を有利ならしめた主因は
皮草、羊毛、毛皮、綿花、米、珈琲、
椰子、蝦、マンゴ、オカ粉及びマテ茶の
輸出額の高上に歸する。五ヶ月間
も目下の所最も確實なのはミゲル・
ルモン氏である、現第一衛戍地方司
令官カル・ソイロダ・フォント・ウラ大將
が、陸軍參謀總長たることは動かな
い、所で州警兵司令官はテルツルリ
アノボチグアラ大佐が据えられやう
と、日本に歸らうとして、一も

夢我夢中に生活することの、如何に
處世上必要なことはあるが、過ぎ
たるは及ばざるの譬の如く、過勞は
命も惜まぬ有様で、縱令善意せよ唯
つた一つの身體を粗末に扱つて居
るのは、如何にも自滅を早めるやう
で情けない感じがする。

◇次期政府閣員顔振

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

次表に依つて明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至五月
伯國輸出貿易

通商統計局發表の統計に依れば、伯
國の輸出入貿易は五月に於いて、前
月來に比し稍減退し又前年同期に比
し、稍增進を示した。今輸出入額を

九一三年に比し數等下位にある事は
年來同期に比し上位を占め、戰前一
年間に比して明である。

●一月乃至

◇外電一束◇

練習隊艦パナマ通過
艦隊船手袋間出雲の三艦は六日同地着八日バナマ運河を通過してリオへ向つた

◆紐育市外國人口

最近國勢院調査による紐育の外國人口は伊太利人八十萬三千、獨逸人六千、英國人八萬九千である

◆南支陳炯明の天下
上海電報に依れば孫逸仙の主力軍は陳炯明の爲撃破され再び起つ能はず

◆仙頭大颶風
香港電報に依れば先週末南支仙頭に大颶風襲來大被害を及ぼし始ど同市は全滅の姿である今日までに收容した死傷者の數は二萬八千に上り家庭總數の七割五分は破壊され街市人畜の死難倒壊家屋の瓦礫木材破片で算をなし悲慘の状況も當られない

◆西比利撒兵命令
香港電報によれば孫逸仙の主力軍は上海電報に依れば孫逸仙の主力軍は陳炯明の爲撃破され再び起つ能はず

◆南支陳炯明の天下
上海電報に依れば孫逸仙の主力軍は陳炯明の爲撃破され再び起つ能はず

◆仙頭大颶風
香港電報に依れば先週末南支仙頭に大颶風襲來大被害を及ぼし始ど同市は全滅の姿である今日までに收容した死傷者の數は二萬八千に上り家庭總數の七割五分は破壊され街市人畜の死難倒壊家屋の瓦礫木材破片で算をなし悲慘の状況も當られない

◆西比利撒兵命令
香港電報によれば孫逸仙の主力軍は上海電報に依れば孫逸仙の主力軍は陳炯明の爲撃破され再び起つ能らず

◆英米海底線不通
英米間聯絡の海底線不通となり調査の結果パレンチャに於けるウエスター・ニューオン會社の局を占領した愛蘭叛徒の所業と判つた(倫敦電報)

◆又も外交文書紛失
力嚴探中(巴里電報)去る月曜日夜リオで國際聯盟所屬の貴重外交文書紛失し警察官憲は極待したジョゼ・マリヤ・フェル

◇經濟欄◇

◆獨逸ニ伯國綿花

伯國の農務省から派遣され、スコット・オールムに催された綿花會議に列席して、列席會議員一同に對し來九月獨立百年祭期してリオ開催される萬國綿花會議に招待した、ジョゼ・マリヤ・フェル

ナイツド・ブレッス記者に次の如く語つてゐる。

伯刺西爾は世界主要の綿花市場に於て重要な地位を占めつゝある、狡猾な英國商人は埃及産綿を價値あらしむる爲に埃及綿に伯國綿を混合して輸入してゐた、と云ふので

伯國は獨逸の諸工業製品に對し廣く、特に最近伯國東北地方を巡視した、英國視察團長ビーラス氏が折り紙をつけたやうに、品質の優秀な爲に、市場に着々と地歩を占めつゝある。

伯國は獨逸を見えてから、獨逸と伯國との通商關係は、著しく増大するは違

いない。と信するに至つた、即ち我が

一方獨逸はその健實な、工業的

國民を擁して、以前のやうな能力を

追及し得べからざるものがある、と

思考されてゐるからである。

伯國は獨逸の一大消費

位を輻回し、伯國原料の一大消費

金とも云はる、綿花が、第一位に

恢復せんにはをくまい、そして舊地

來ることは疑はれない。

伯國は綿花にさう大して力瘤を入れなかつたが、風土氣候

の諸條件が誠によく揃つてゐるので

政府も綿花をして、伯國の一大富源

の一大たらしめやうと、大分乘氣にな

りだした。とにかく之はストックフ

ルトの諸州は、綿栽培上最好適地で

ある、と云ふことに満場異議なく肯

定確認された。

吾人は萬國綿花聯合協會、殊にそ

の會頭のビーラス氏及び調査研究視

察の爲に、伯國へ特派された委員團

に満腔の謝意を表するものである

へられた吾人がそれを謹直に從つた

事を、公衆の前で非常な満足を以て

感謝した次第である。

さて獨逸の綿花輸入の將來に就て

伯國於ける玉蜀黍生産額は珈琲に次

へ本年一月乃至五月の成績と昨年同

年輸出は昨年の約一割餘に過ぎない

死亡率はクリチバが最低位であつた

が、その死亡率は總死數の一割

五分越す事はない、往々クリチ

病氣の最も普通なものは、消化器

病、循環器病及び呼吸器病である、

傳染病としては時偶チブスが發生す

るが、その死亡率は總死數の一分

の大流行時も、クリチバの死亡率は

最低であつた、一九二〇年に於て出

生率はボルトアレグレ、サンカルバ

ンドル、レンソイフエ其他各地方より多

く、唯サンバウロのみに劣つた、又

死亡率はクリチバが最低位であつた

が、その死亡率はクリチバの死亡

率と死亡率とを對比して示せば、

わたくしが自慢で造つた

不思議の指輪 (九)

松本高信

お爺さんは眼でも取換たい程な
ぐともう堪りません
『オヤ小僧、お前はいゝものを持つ
てゐるな、俺にもちつと呑ませない
か』
ともう手を出しながらそう言ひます
ので太郎さんはわざと
『茲までお出でなさい、茲まで來た
ら上ませう』

と尙もボヤ〜と音をたてるもの
ですからお爺さんはもう堪らなくな
つて小さな入口を四つに這つて中へ
入てありました。

そこで太郎さんは今一つの瓶を取
出して
『さあ、お爺さんおがり
と差ししました。お爺さんは丁度昨
日太郎さんが水を呑んだ時の様にガ
ブ〜と忽ち瓶を空にしてしまひま
した、するとそれが眠り薬でしたか
らお爺さんはすぐグ〜と眠りこ
けてしまひました、太郎さんは

奴隸の娘 (三〇)

ベルナルド・ギマラエス

恰度其の時表玄闇に當つて、

『もし、御免下さい。』

が聞えて來た。

『誰でもいい入つて來給へ。』

夫人や義弟から、正面側面からの
猛烈な攻撃にたまりかね、タヂ〜のしがろもどろ、そこへかうした思
がけない飛入で、九死の裡に活路を見出した思ひのレオンシオは、天の
助けと思慮もなくかう叫んでホツと
した。

然しそこへ入つて來てヌツと顔を

出したのは誰あらう、レオンシオの
父親から、理不盡に追ひ出された、
農園の元支配人、イナウラの父の

親の

ても差支はあるまいと思ひます。』

『お爺さんは眼でも取換たい程な
ぐともう堪りません
『そうだ、あの爺さんは寝つてしまつた
ので太郎さんはわざと
『茲までお出でなさい、茲まで來た
ら上ませう』

と早速指環の精を呼出して

『掌のタコで食ふてどういふ事かね』

と尋ねました、すると指環の精は重

く早い聲で

『自分で働いて自分で食ふのが一番

尊い事です、百万の財を祖先から貢

つて寝てて食ふより掌にタコを作

つてパンを食ふ方が遙かに愉快で遙

かに自由です、だから掌のタコで食

つて寝てて食ふより掌にタコを作</div

伯の葡國大統領アントニオ・アルメダ氏が宿舎にはアナ・バラ宮殿を完結する事となり目下其の準備中である。或は米國大使ヒューズ氏にも同宮へ一部を提供するに至るやも知れずと尙ほ戦時に抑留した舊獨船を利用してホテルの不足を補つたら云ふ説もある。

● ピラシカバ市
創立百年記念

● 艦隊歓迎開と百年祝賀會の
委員會決議事項

去る六日午後七時半から日本俱樂部の一室で練習艦隊歓迎團と伯國獨立百年祝賀會の第二回委員會が開かれた當夜出席者は十一名で委員長山田揚之助氏は開會の挨拶を述べ且つ第一回委員會後の寄附金及び其の他の經過を報告して後相談に移つたが其の結果左の如くである。

一、練習艦隊歓迎の寄附金は今日までの情勢を見る時は豫定の十二コントスに達する見込十分なるに依り歓迎方法を次項の如くすること。

二、司令官以下二十餘名をリベロンブレット方面に案内すること。

(イ)右に要する汽車賃、宿泊賃、自動車賃等は總額持として依頼するこゝとし、歓迎の件は總額事務所に依頼するこゝとし、歓迎團側の負擔費用見積りなし。

(ロ)司令官以下二十餘名の聖市案内費も歓迎團側の負擔と此の費用見積りなし。

(ハ)將軍案内所の設置し種々の便宜を計ることし此の費用を一人一姫見積り二千五百人に對し、(二)五〇〇〇円〇〇〇円まで。(二)委員一名「リオ」へ出張諸般の打合せを爲す(九月三日艦隊入港時の費用)

(ホ)預費(計) 一二、〇〇〇、〇〇〇

優良なる農具及工具用
又物一切の御注文は本
工場に願上候



旭

旅館

修繕は 齊藤時計修繕所

大石内藏之助

牛井桃水

切るなら早いが勝しや」と右衛門
七は切に諫めた。

『や、小生が足下に、いつ偽りを構へたか』
『いつでもない、今日唯今』
『お互ひに本懐を遂げるまで、決して酒色に近づくまいと、深く誓つて置いた事を、足下は覺えて居やるか』
『勿論誰が夫を忘れやう』
『夫を覺えて居りながら、三日に揚げぬ色廊通ひ』
『エフ』
『酒色に魂奪はれながら、當座凌ぎの出放題夫でも偽りであるまいか、證據を見たくば證據も見せう』
『やゝ、それを何うして』と平左衛門が出す手を拂ひ、
『今朝程原殿を音詠た歸途、足下が懷中からばつたりと落ちた此の文、何心なく拾うて見れば、あだ艶めかしい女の手で、懸しき平様まるで、女はせぬか、偽りの心はないか』と右衛門七は詰寄つた。平左衛門は面目なげに、顔うな垂れて歎息つき、既に足下に知られたからは、包まず仔細を明すであらう、右衛門七聞いてくりやれ』
『いかなる仔細あらうとも、大望を抱きながら、女色に迷ふなまくら武士、聞いたとて役には立ぬ、耳の汚れに相成るばかりぢや』
『一途に腹も立つてあらうが、ヤ、左様はいはぬもの、譯を聞いたその上、悪いとあれば退きもせう、夫怨みも申した、足下の今言葉、女志の耳に入れば、如何なる批判を受けて、萱野の跡に迷うて遅れは取らぬと、いはれた』
『豊齋先生には小生も、四書の教授に預つた』
『ナア其の豊齋先生は、故あつて仕まい、何せ一度は切れる縁、とてもとはつは恨めしさうに語る。』

北の新地しらみつといふ茶屋の二階に、人待顔の艶女は、淡路屋のは生は先生に、取分け深い御恩のある者、始終心に掛けて居ると、赤穂引拂ひの砌、先生は大阪の谷町邊に門戸を張り、書生を教授めさるとの事それゑ小生當地へ参ると、直様心を賣り、今は傾城の勤めと聞いた』
『さては淡路屋のはつといふのは』
『富津の娘公のおまんざの』
『ム、左様であつたか、とは知らずして一概に腹立たはいつもの知慮、右衛門七過り入る』
『イヤその挨拶では面白ない、實は先生の墓所を聞出し、昨年秋の彼岸會、天王寺へ參つた處、料らずおまんざに出會ひ、先生御病中の物語り何くれど承はる内、黄昏時に及ん出で、平左衛門に突けた。』
『やゝ、それを何うして』と平左衛門が、
『今朝程原殿を音詠た歸途、足下が懷中からばつたりと落ちた此の文、何心なく拾うて見れば、あだ艶めかしい女の手で、懸しき平様まるで、女はせぬか、偽りの心はないか』と右衛門七は詰寄つた。平左衛門は面目なげに、顔うな垂れて歎息つき、既に足下に知られたからは、包まず仔細を明すであらう、右衛門七聞いてくりやれ』
『いかなる仔細あらうとも、大望を抱きながら、女色に迷ふなまくら武士、聞いたとて役には立ぬ、耳の汚れに相成るばかりぢや』
『一途に腹も立つてあらうが、ヤ、左様はいはぬもの、譯を聞いたその上、悪いとあれば退きもせう、夫怨みも申した、足下の今言葉、女志の耳に入れば、如何なる批判を受けて、萱野の跡に迷うて遅れは取らぬと、いはれた』
『豊齋先生には小生も、四書の教授に預つた』
『ナア其の豊齋先生は、故あつて仕まい、何せ一度は切れる縁、とてもとはつは恨めしさうに語る。』

婦人欄

子の教養

祝典記念號發刊

サントス市

電話セントラール一九七三番

マルチン、アホンソ街四一番
横濱、神戸行きリオ港發八月十四日

九月十八日

リオ港發九月十八日

九月十八日

九月十八日